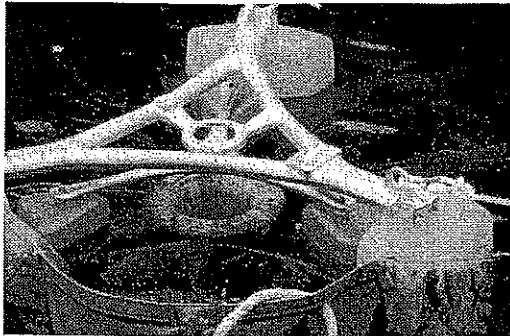


流出油回収装置

海上保安庁に納品

ワールドケミカルが可搬型



水面付近でホースを支える浮きと、吸い口のみを支える浮きを別々にした2重フロート構造で、常に吸い口を水面下10ミリー20ミリーの範囲に海上保安庁から9台受注した油回収装置

ワールドケミカル(東京都港区、森蔭社長、03・35588・1140)は、海上に流出した油を回収する装置「スキムボーイ」を海上保安庁から9台受注し、納品した。受注総額は4700万円。同庁からの受注は初めて。持ち運び可能な小型設計が特徴。同庁はこれまで米国製の大型装置を利用してはいたが、更新時期が近づき、小型で可搬型の国産装置を探していた。

装置は水面に浮かべる重さ24キログラムのシャイロフ・ロート部と重さ50キログラムのガソリンエンジン付きポンプからなり、1立方メートルのコンテナに収まるコンパクト設計。大人2人で運べる重量で、流出事故の際に素早く対応できる。吸い込み能力は毎分150リットル。

位置させられる。急な高波による変動でも、吸い口位置を安定させることで、一時的に大量の空気が水や水を吸い込むリスクを

軽減。空気混入による浮力差でホースが激しく上下動することを防ぎ、海面に浮かぶ油を効率的に回収できる。

ワールドケミカルはこれまで緊急流出油の回収を目的に、国土交通省などの官公庁にスキムボーイを13台納入した。2重フロート構造の浮上油回収装置は、工場排水中の

油を分離回収する目的で開発。これまで鉄鋼や自動車、食品業界向けに約1万台を収めてきた。海上保安庁などの公的機関への納入実績を重ね、「緊急用途でも通用する信頼感を武器に、民間企業に対しても広くアピールしたい」(山崎喜久生取締役営業本部長)考えた。